

報道関係 各位

「第 15 回 岡山脳卒中市民公開講座(オンデマンド配信)」開催

超高齢社会の到来とともに、新たに脳卒中を発症する患者は年間 30 万人、脳卒中の患者数は 300 万人に達していると推定されています。脳卒中は国内の死因第 4 位で、年間 10 万人以上が亡くなっており、また寝たきりの原因は 4 割、要介護となる原因は 3 割を占めています。運動麻痺・感覚障害・失語症といった重大な障害を残すことも多く、患者さんだけでなく、ご家族の生活にも支障をきたす場合があります。したがって、健康管理により脳卒中の発症を予防すること、もし発症した場合は一刻も早く治療を開始し、治療後はリハビリテーションにより障害を軽減することが大切です。

日本脳卒中協会は、新たな脳卒中発症の減少や、患者さんやご家族の不安軽減と QOL 改善を目的に、正しい知識の普及や最適な治療を受けるための情報提供など、幅広く活動しています。岡山県支部では平成 17 年の開設以来、地域医療の充実に鋭意取り組んでおり、本年度も市民の健康管理に貢献するため「第 15 回岡山脳卒中市民公開講座」をオンデマンド配信で開催いたします。

配信期間：10月1日(金)配信中～12月31日(金)

URL：日本脳卒中協会 市民公開講座 <http://www.jsa-web.org/citizen/4684.html>

配信プログラム：

【講演 1】『脳卒中・循環器病対策推進基本計画 - 脳卒中協会の活動について -』

宇野 昌明（日本脳卒中協会岡山県支部 支部長）

【講演 2】『脳卒中とその現状』

八木田 佳樹（日本脳卒中協会岡山県支部 副支部長）

【講演 3】『脳卒中の危険因子と予防』

大山 直紀（川崎医科大学附属病院脳卒中科 副部長）

【講演 4】『こんな症状がでたら脳卒中を疑いましょう』

岩永 健（岡山赤十字病院脳卒中科 部長）

【講演 5】『脳梗塞急性期の内科治療（rt-PA 静注療法）』

井上 剛（日本脳卒中協会岡山県支部 副支部長）

【講演 6】『脳卒中に対する血管内治療』

松原 俊二（川崎医科大学附属病院脳神経外科 副部長）

対 象：一般市民、脳卒中患者およびその家族、脳卒中診療に従事する医療関係者

主 催：公益社団法人 日本脳卒中協会 岡山県支部

※詳細は別紙チラシ参照

<問合せ先>

川崎医科大学 脳卒中医学内
公益社団法人 日本脳卒中協会 岡山県支部
TEL/FAX: 086-462-3656
URL: <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jsa/>

第15回

(主催) 公益社団法人 日本脳卒中協会 岡山県支部

〒701-0192 倉敷市松島 577 川崎医科大学 脳卒中医学内 TEL&FAX: 086-462-3656



岡山脳卒中市民公開講座

2021年

10月1日(金)～

オンデマンド配信

脳卒中月間(10月)のイベントとして、今年度市民公開講座をWEBにてオンデマンド配信をすることにしました。詳細は、日本脳卒中協会ホームページ <http://jsa-web.org> をご覧ください。



【配信プログラム】

【講演1】『脳卒中・循環器病対策推進基本計画-脳卒中協会の活動について-』

宇野 昌明先生 (日本脳卒中協会岡山県支部 支部長)

【講演2】『脳卒中とその現状』

八木田佳樹先生 (日本脳卒中協会岡山県支部 副支部長)

【講演3】『脳卒中の危険因子と予防』

大山 直紀先生 (川崎医科大学附属病院脳卒中科 副部長)

【講演4】『こんな症状がでたら脳卒中を疑いましょう』

岩永 健先生 (岡山赤十字病院脳卒中科 部長)

【講演5】『脳梗塞急性期の内科治療(rt-PA 静注療法)』

井上 剛先生 (日本脳卒中協会岡山県支部 副支部長)

【講演6】『脳卒中に対する血管内治療』

松原 俊二先生 (川崎医科大学附属病院脳神経外科 副部長)

参加費無料

事前申込不要



日本脳卒中協会
YOUTUBE チャンネル